

NO.	分野別No.	分野	意見・質問	質問者	担当課
1	資料1	施策体系一覧、評価一覧	多くの項目が高得点だが、巻末にそう評価された要因を記述してほしかった。	M委員	人権擁護課
2	16	部落差別（同和問題）	両委員による合同研修が、実績に上がっていないのはなぜ？	会長	人権擁護課
3	16	部落差別（いろいろ人権問題）	・「いろいろ相談」については、月の初日と設定されているので周知されやすいです。何度か繰り返し来られている方もおられますが、その方は他の相談機関も重複して利用されているようです。人権擁護課による各機関間の情報交換や連絡調整をよろしくお願いします。 ・人権教室については、市内の全保幼小で実施されており定着しているのはすばらしいと思います。人権啓発は全市を挙げて実施することが重要ですから、特に子どもたちの教育は基盤となるものなので継続して推進してほしいです。学校と地域の縦横の関りは大切です。	B委員	人権擁護課
4	17	部落差別（同和問題）	2 0 2 2 年度発生 の 差別 事 象 は 3 件 で は な い か	会長	人権擁護課
5	17	部落差別（同和問題）	部落差別解消推進法が2 0 1 6 年施行から8 年以上経過しましたが、第三条、第五条、第六条に規定されている施策のこれまでの実施された具体的内容と今後の取り組み状況について、質問します。	A 委員	人権擁護課
6	26	部落差別（同和問題）	じんけんミーティングについて、これまでおこなわれていた地区別懇談会に代わり、3つのコースから選択して行うこととなった。時代の流れに伴い、また特定の人への負担を減らすことにはつながると思う。（選択コース ii）の資料回覧版と選択することが予想される。確かに方法としては平易ではあるが、そうなった場合どれだけの住民が真剣に世の中の差別について考えるだろうかと懸念する。地区別懇談会を開催していた時はその時間だけでも考える機会となっていたのは事実である。人権問題は人の心の問題であるため、やはり地道に研修をかさね少しでも前進できるよう努力を重ねていければと思う。	G委員	人権擁護課
7	35	部落差別（同和問題）	評価が5→3（人権教育課）に下がっている。課題等は変化がないのになぜか	会長	人権擁護課
8	36	部落差別（同和問題）	令和7 年度からの自治会の主体的な実施への移行…説明が必要	会長	人権擁護課
9	64.65	女性	昨年と同様の取り組みなのに評価が上がっている。効果が知りたい	会長	商工観光労政課
10	87	子ども、無職少年対策について	最近、青少年による殺人や強盗・詐欺等の凶悪犯罪等が多発し、社会問題となっている。その背景や原因は多岐にわたり、短絡的に結論づけることはできない。 一方で日本は、1 4 年連続で人口が減少し（1 億2 3 8 0 万2 千人）、人口比率を見ると1 5 歳～6 5 歳の生産年齢人口は5 9.6 %。 1 5 歳未満は1 1.2 %、1 5 歳以上は、生産年齢の入口で今後の経済や社会を担っていく貴重な世代である。無職少年を出さぬ前に、各家庭や保幼小中、地域、企業で温かい見守りや支援をしていくことが喫緊の課題。 そうした土壌の上に少年センターは、従来の青少年の健全育成や就労支援を推進され、一人ひとりのよき自己実現のもと栗東を愛する若者の力強い活力育成をめざした事業の展開を期待する。	K委員	少年センター （生涯学習課）
11	93	高齢者	昨年と同様の取り組みなのに評価が上がっている。効果が知りたい	会長	長寿福祉課
12	108	障がいのある人	毎年2 評価で審議会委員さんたちも気にしている。よい方法はないか	会長	障がい福祉課
13	109	障がいのある人	障がい者の社会参加と交流、視覚障がい者の安全サポートの強化、視覚障がい者生活行動訓練でボランティアの参加者数の伸び悩みの原因、解決方法は？ 地域ボランティアの育成、スマホの音声ナビやAI読み上げ機能などの利用法を学ぶ講座の開催をお願いしたいです。 歩行訓練士によるアドバイスを受けながらの訓練で、歩行訓練士は、滋賀県で何人くらいいるのですか。 視覚障がい者の7 割が6 0 歳以上とあります。栗東市では、6 0 歳以上の方は何名くらいおられるのでしょうか。 また、高齢者と若い世代との対応について違いはありますか？	D委員	障がい福祉課
14	143	外国人	何故、評価が4→2 に下がったのか？ 評価を4 に戻すにはどうすればよいのかももう少し具体的に取組み方法を検討すべきではないか？ 外国人で栗東市に住んでいることを隠そうとする人がおられるが（企業の意向、本人の考え等）、何故そうなのか話し合える場の醸成が大事ではないか。	J委員	自治振興課
15	153	性的指向・性自認（性同一性）等	その後のパートナーシップに向けての動きが知りたい	会長	人権擁護課
16	44.46.47	部落差別（同和問題）	ひだまりの家の取り組みについて、2 評価多いのが気になる	会長	ひだまりの家

17	53.59.112	部落差別・女性・障がい	膨大な資料の作成、大変な時間と労力を使ってまとめていただいたことに感謝いたします。 ・住民意識調査は５年毎に実施されるようですが、「栗東市は基本的人権が尊重されている」の質問に肯定的回答をする住民の割合が４０％との目標値が示されていますが、この値が設定された根拠を教えてくださいと思います。 ・教育実態調査は、２０２４年度に実施されたのでしょうか。結果を教えてくださいと思います。	B委員	人権擁護課
18	全般的な感想・意見		「一人ひとりの人権を尊重するまち」の実現をめざし、実に多くの施策や事業がきめ細かく実施され、市民一人ひとりの幸せと、市のよき未来づくりが着実に推進されている。 担当課による評価は、４（目標どおり達成できた）が、５５.８％、３（目標近く達成できた）が４０.１％で社会の変化や地域の実態に即した実践がなされていることを実証している。 しかし、２（目標には及ばなかった）が３％あることや社会の急激な変動もみられる今日、官民一体となって連携し、実態の改善や向上に取り組む必要もある。教育・啓発や実践の充実にさらなる気運の高まりと遭遇を期待する。	K委員	人権擁護課
19	資料２	実施計画	人権の問題は、昔からあちらが良くなればこちらが悪くなるという堂々巡りの問題であり、常に解決の出口が見えないが、大人達、子どもたち、学校、地域での取組をもっと深く掘り下げられる施策が何か考える取組を考えなければいけない。	M委員	人権擁護課
20	全般的な感想・意見	外国人	栗東市として世界に通じる国際人の育成をどの様に取り組んでいくのか今後の課題として考えていただきたい。 審議会の中で議論すべきかも。 現在、米国のバーミングハム市、中国の衡陽市と交流があるが遠方のため交流といっても難しい所がある。これからは近くの韓国や台湾との交流を考えていく時期に来ているのではないか。 栗東市は国際交流する都市に成熟していないのではないか？ 総体的に細部に渡り施策が示されているが、もう少し年度別にポイントを絞ってもよいのではないか？（事務局のご苦労は理解しているが…）	J委員	学校教育課 自治振興課
21		その他	市の行事等で使用されることの多い芸術文化会館「さきら」について、トイレのバリアフリー（改修）が必要ではないでしょうか。 女性トイレは和式がほとんどでイベントの休憩時には長い列ができます。管轄がどこかわかりませんが、栗東市の文化芸術の拠点であるさきらのトイレ整備が旧態然なのは残念に思います。	B委員	-
追 加					
追加		その他	人権擁護推進本部の構成（本部長・委員）を教えてください。 また、令和６年度の本部会議の開催記録を教えてください。	H委員	人権擁護課
追加	20	部落差別（同和問題）	児童支援加配担当者連絡会の施策の中で、評価が3から4にアップしている原因は何か。	H委員	幼児課
追加	44	部落差別（同和問題）	評価が３→２（ひだまりの家）に下がっている。目標値が高いのではないか。	H委員	ひだまりの家
追加	143	外国人	ベトナム人が多い傾向とありますが、交流事業の存在を周知できていますか。 量販店で外国籍の方を見かけますが、近隣の企業に勤務されているのか、日本語を理解されていると感じます。	H委員	自治振興課